

産業厚生常任委員会 資料

平成 29 年 9 月 5 日
地域創造部 商工観光課
まち未来課

資料

- 1 加東市地域経済活性化基本計画の取組状況について ······ P 1
- 2 商工業の振興に係る取組状況について ······ P 4
- 3 国道 175・372 号交差部周辺活性化基本計画の取組状況について ··· P 7
- 4 平成 28 年度指定管理者導入施設のモニタリング
(業務の履行状況) 資料 ······ 別冊

加東市地域経済活性化基本計画の取組状況について

第3ステップ実施内容報告（平成27～29年度）

平成23年度に策定された基本計画では、第1ステップ（平成24年度）、第2ステップ（平成25、26年度）、第3ステップ（平成27～29年度）としており、第3ステップの実施実践内容については、第2ステップからの継続内容を含め次のとおりまとめております。

第3ステップ実施内容

基本方針	基本施策	シート番号	重点施策	実施内容	第3ステップ	NO.
工業の更なる発展を支援する	企業立地の支援	01	新規立地支援	新たな工業団地の開発検討	◎	3
	産業クラスターの構築	04	産業クラスター施策の企画立案	(小規模)産業クラスター計画の作成 <第4ステージ>産業の進化・発展	◎	16
	企業間交流と連携支援	05	工業団地内(間)情報交換の支援	自主運営への移行	◎	20
商業の衰退に歯止めをかける	市内購買力の向上支援	07	市内循環型消費システム施策の企画立案	企業間情報交換による新規事業、商品開発支援	◎	28
		08	大規模商業施設の販売力向上支援	大規模商業施設の周辺開発を含めた都市計画策定 国道175、372号線の交差点活用検討	⇒◎	29 30
	地域ブランド商品のPR強化と開発支援	11	地域ブランド商品の開発	JAPANブランド戦略の検討	◎	38
	観光業の強化	14	交流人口増加施策の構築	高速道路を軸とした広域連携	⇒◎	52
人口4万人を維持する	流入人口獲得と流出人口抑制	17	自然災害の少なさ・「加東暮らし」の良さPR	きっかけづくり:短期滞在型交流事業の検討 滞在型から定住化へ 定住化施策の展開	⇒◎	61 62 63
		18	雇用と魅力あるまちづくりビジョンの策定	雇用と魅力あるまちづくりビジョン	◎	65
	行政・商工会・各種団体・事業者の連携強化	23	商工会の活用 (具体的課題の検討・解決)	インキュベート・シンクタンク機能の発揮	◎	74
基本方針を実現する	「加東市」ブランドの強化	24	地域資源の再評価とPR強化	地域資源の認定・PR	⇒◎	77
		25	「加東市」表示の施設増加	費用対効果の検討 新規の施設などは「加東市」「加東」「かとう」を冠とすることを原則とする	⇒◎	78 79

朱記項目: 重点フォロー項目

第1ステップ: 平成24年度
 第2ステップ: 平成25、26年度
 第3ステップ: 平成27年度以降

は行政
は商工会
は共同

⇒◎ : 第2ステップからの継続

加東市地域経済活性化 第3ステップ実施状況

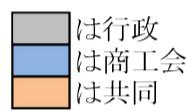
基本方針	シート番号	重点施策	中間報告	第3ステップ	No.
基本施策		実施内容			
工業の更なる発展を支援する					
企業立地の支援	01	新規立地支援 新たな工業団地の開発検討	既存用地の販売を優先して取り組んだ結果、ひょうご東条ニュータウンインターパークの事業用地は平成29年3月に完売 平成28年度に新たな工業団地の候補地についての検討 平成29年度は、候補地の選定及び事業着手の可否について協議、検討	◎	3
産業クラスターの構築	04	産業クラスター施策の企画立案 (小規模)産業クラスター計画の作成 <第4ステージ>産業の進化・発展	産業クラスターの構築に向け、オンラインかわら版の機能を強化し、利用促進を図るも行政からの情報発信にとどまり、企業間の連携に至らず。このため、平成27年度末で事業休止	◎	16
企業間交流と連携支援	05	工業団地内(間)情報交換の支援 自主運営への移行	オンラインかわら版による工業団地企業間のネットワーク構築を図ったが、活用には至らず平成27年度末で事業休止 市と商工会の連携により平成28年6月に加東市経済懇話会を設立。課題は、工業団地企業と地元企業との関係づくり	◎	20
商業の衰退に歯止めをかける					
市内購買力の向上支援	07	市内循環型消費システム施策の企画立案 企業間情報交換による新規事業、商品開発支援	電子マネーポイントシステムの導入を模索したが、断念 平成27年度にプレミアム商品券事業を実施(商工会に事業委託) 地域内循環型システムをディスカバー加東とし、「平成の加東四国八十八カ所霊場巡り」を観光協会で実施中(市内循環型システム)	◎	28
	08	大規模商業施設の販売力向上支援 大規模商業施設の周辺開発を含めた都市計画策定 国道175・372号線の交差点活用検討 ※新規に開発するよりも、既存施設の充実を図る方針によりBio中心の事業になる。	中心市街地活性化基本計画に向け、基礎データを収集(平成27年度) かとう未来総合戦略及び加東市人口ビジョンを策定(平成27年度) 国道175・372号交差部周辺活性化基本計画を策定(平成26年度) Bio周辺を利用したまちの拠点づくりコンソーシアムの事業を展開(平成27年度～) 地域公共交通網形成計画(平成27年度)に、Bioバスターミナルを明記	⇒◎	29
地域ブランド商品のPR強化と開発支援	11	地域ブランド商品の開発 JAPANブランド戦略の検討	未実施 24で後述のGAP調査を実施	◎	38
観光業の強化	14	交流人口増加施策の構築 高速道路を軸とした広域連携	北播磨広域定住自立圏連携事業による広域連携 「のぼってみよう北はりま」発行(平成27年度) 「北はりまみちくさマップ」発行(平成28年度) 「北はりまサイクリングマップ」発行予定(平成29年度) 「ぐるめぐり」(市内グルメマップ)発行(平成27年度 商工会) 「加東市じやらん」発行(平成28年度 商工会) 「グルメパスポート」発行(平成27～28年度 コンソーシアム) 「加東市ゴルフパスポート」発行(平成29年度 ゴルフ協会) 「香住のかニと加東のお酒のマリアージュ」事業の検討(観光協会)	⇒◎	52
人口4万人を維持する					
流入人口獲得と流出人口抑制	17	自然災害の少なさ「加東暮らし」の良さPR きっかけづくり:短期滞在型交流事業の検討	小学生の田植え、稲刈り体験(はしかの里営農組合) 市内工業団地企業も交えての田植え、稲刈り体験(敷地内) ※短期滞在型交流事業とは、日帰り・泊を想定したイベント事業	⇒◎	62
		滞在型から定住型へ	中心市街地活性化基本計画に向けた調査で商業施設の空き状況調査(平成27年度) 空き家等活用実態調査(平成28年度)	⇒◎	62
		定住化施策の展開	結婚新生活支援事業(平成28年度～) 働く世代住宅取得支援事業(平成29年度) 就職面接・相談会in加東市(平成29年度) 工場・施設見学会 於:富士通周辺機器(平成29年度) 職業講演会(平成29年度予定)	⇒◎	63
	18	雇用と魅力あるまちづくりビジョンの策定 雇用と魅力あるまちづくりビジョン	かとう未来総合戦略及び加東市人口ビジョンの策定(平成27年度)	◎	65

加東市地域経済活性化 第3ステップ実施状況

基本方針	シート番号	重点施策		中間報告	第3ステップ No.
		基本施策	実施内容		
基本方針を実現する					
行政・商工会・各種団体・事業者の連携強化	23	商工会の活用(具体的課題の検討・解決)	インキュベート・シンクタンク機能の發揮	小規模事業者支援については、「経営発達支援計画」(事業期間:平成27~30年度)により伴走型支援を実施中 創業支援については、「創業支援事業計画」(事業期間:平成27~31年度)に基づき事業実施中 いずれも、金融機関等の他の支援機関とのソーシャル・ビジネス・ネットワークを構築を念頭に実施中	◎ 74
「加東市」ブランドの強化	24	地域資源の再評価とPR強化	地域資源の認定・PR	地域資源に関するGAP調査の実施(平成27年度 商工会) 市ホームページ更新時に、「観光ガイドマップ」をトップページに配置(平成28年度) 観光協会ホームページをリニューアルし観光モデルコースを紹介(平成28年度)	→◎ 77
	25	「加東市」表示の施設増加	費用対効果の検討	未実施	→◎ 78
			新規の施設などは「加東市」「加東」「かとう」を冠とすることを原則とする	未実施	→◎ 79

朱記項目: 第1ステップ: 平成24年度
 第2ステップ: 平成25、26年度
 第3ステップ: 平成27年度以降

→◎: 第2ステップからの継続



商工業の振興に係る取組状況について

平成29年度商工業の振興に係る主要事業

(1) 就職面接・相談会 in 加東市（新規）

主催等	主催) 加東市、ハローワーク西脇、商工会、兵庫労働局 共催) 北播磨県民局、北播磨雇用開発協会
内 容	学生等UJ1ターン就職希望者や若者求職者の就職支援と地元企業の人材確保を支援するため、ハローワーク等と協力して就職面接・相談会を開催する。
開催日時	平成29年9月15日（金） 午後1時～午後2時30分
場 所	加東市役所201会議室
対象者	・加東市内での就職を希望する方（来春大学・短大等卒業予定者、既卒3年以内の者、一般正規社員・非正規社員・パートタイム雇用希望者等）
参加企業	加東市内に所在し、正規社員求人等がある事業所（28社）

(2) 女性のための就労支援セミナー（新規）

主 催	加東市（商工観光課、人権教育課）
内 容	女性の社会参加への支援を強化するため、子育て中の女性を対象に就労セミナーを開催する。 第1部)「面接好感度アップトレーニング」講話 講師：ハローワーク西脇 第2部)「就活マイクレッスン」 講師：ビジネスマナー講師 キャリアカウンセラー 小西美佐子氏
開催日時	平成29年9月13日（水）午後1時30分～午後4時
開催場所	南山活性化支援施設 ミナクル
対象者	子育て中の女性等
募集人数	20名

(3) 「夢がきらめく シゴト発見プロジェクト」（新規）

① 工場・施設見学会

主 催	加東市（商工観光課）
内 容	子どもたちが地元への愛着心を育み、将来にわたって地元での就職定住を図ることを目的として、市内にある事業所の工場施設見学を実施した。
開催日時	平成29年8月8日(火) 午後1時30分～午後3時
見学先	富士通周辺機(株) (スマホ製造工程、品質評価・耐久試験、IT機器のリサイクル)
対象者	市内在住、在学の小学5、6年生、中学生及びその保護者
募集人数	48名
	参加人数 46名

② 職業講演会

主 催	加東市（商工観光課）
内 容	子どもたちが将来働くことへの意義や楽しみ、将来の選択肢を広げるための機会を提供するため、講師として、職業のプロ（職人）を招き、職業講演会を開催する。
開催日	調整中（冬休み中を予定）
講 師	調整中
対象者	市内在住、在学の小学5、6年生、中学生及びその保護者
募集人数	30名

（4）立地企業への優遇措置

① 企業立地奨励金（平成28年度制度創設）

内 容	市内に工場を新增設した企業に対して、固定資産税及び都市計画税の全額相当額を交付する。（5年間）
取組状況	操業年度）交付要件を満たす企業へ制度説明。 操業の翌年度）交付を受けることができる企業を指定。 操業の翌々年度）企業に対し、奨励金を交付。（1年目分）
指定企業数	指定を受けることが見込まれる企業数 平成29年度 3社 平成30年度 4社

（5）創業者支援補助金（平成28年度制度創設）

内 容	創業後3年未満の創業者で、創業支援事業計画に基づく創業支援を受け、かつ商工会から推薦を受けた者に対して、販路開拓に取り組むための費用の2／3以内を補助する。（上限50万円）
取組状況	平成28年度）1件（245,000円） 平成29年度）商工会と協議中

（6）創業セミナー（定住自立圏共生ビジョン 創業支援連携事業）

主催等	主催：加東市・加西市・西脇市・多可町
内 容	販路開拓についてのセミナーを開催する。広域で開催することで参加者の広域の交流が図られ、新たな事業展開が期待される。
開催日	調整中（平成29年11月予定）
講 師	楽天（株）へ派遣依頼
対象者	圏域内の創業希望者または創業間もない方
募集人数	40名

(7) 就労支援室 窓口相談・事業所訪問（商工会への委託事業）

内 容	就労支援員がハローワークと連携し、就労に関する情報提供や相談業務を展開する。また事業所訪問により、雇用経済情勢等の情報収集を行う。			
取組状況		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度 (7月末時点)
	①就労面接相談件数 (件)	6 1 4	5 5 7	2 3 6
	②求人カード 推移一覧 (枚)	加東市	1, 7 6 6	1, 7 2 6
		他地区	8, 0 4 9	8, 5 2 8
		計	9, 8 1 5	1 0, 2 5 4
	③求人カード持ち帰り 枚数 (枚)	5, 0 9 3	7, 1 0 2	3, 6 2 1
	④事業所訪問件数 (件)	1, 0 8 9	1, 1 6 6	5 2 4

(8) 各種統計調査

① 工業統計調査

内 容	事業所数、従業員数、製造出荷額、原材料使用額などを調査することにより、工業の実態を明らかにする。			
取組状況	調査の基準日 平成 29 年 6 月 1 日 調査員説明会 平成 29 年 5 月 12 日 (金) 調査員 8 名 調査活動 5 月～7 月 調査票提出事業所 2 4 8 件			
	結果公表 平成 30 年 2 月下旬			

② 就業構造基本調査

内 容	全国、都道府県別、都道府県内の地域別に、社会情勢の変化に伴う就業の実態を明らかにする。			
取組状況	調査の基準日 平成 29 年 10 月 1 日 調査員説明会 平成 29 年 8 月 30 日 (水) 調査員 6 名 (調査区数 6) 調査活動 8 月～10 月			
	結果公表 平成 30 年 7 月			

(9) 商工会と連携して取り組んでいる主な事業

①創業支援事業

- ・創業塾、創業セミナー、個別相談会

②ビジネスプラン作成支援事業

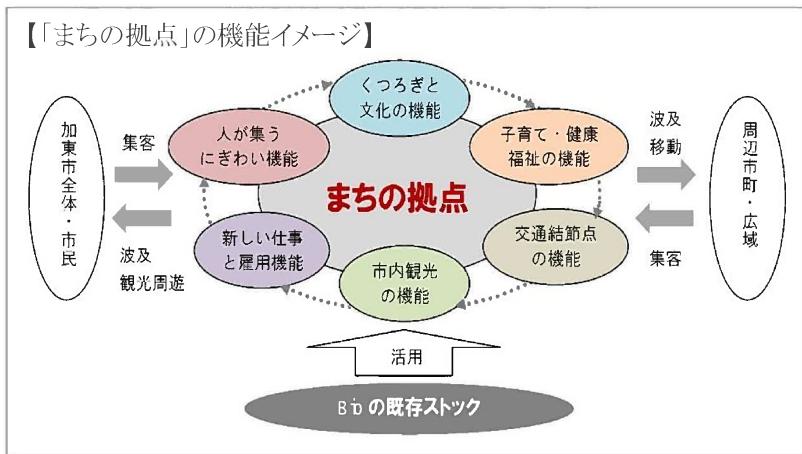
- ・個別相談会等

③事業承継支援事業

- ・市内事業所への実態調査、セミナー開催等

国道175・372号交差部周辺活性化基本計画の取組状況について

計画内容について



(出典:国道175・372号交差部周辺活性化基本計画P. 18)

【基本的考え方】

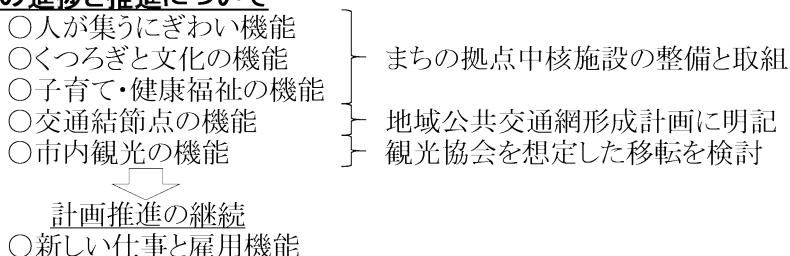
- ① 今あるものを活用し、育てていく
- ② 民間でできることは民間に任せる
- ③ 行政の行うべき施策を総合化・集中化
- ④ 社会実験を活用しながら最適解を求めていく

(出典:国道175・372号交差部周辺活性化基本計画P. 17)

計画策定以降の取組みについて

平成27年10月	まちの拠点づくりコンソーシアム設立
平成28年 2月	中心市街地活性化基本計画に向けた基礎的データ収集
平成28年 5月～	社会実験事業(第1弾)実施
平成29年 4月	活動拠点の整備(やしろショッピングパークBio多目的ホール) ・多目的ホール等施設利用 ・チャレンジショップベース設置 ・レンタルスペース設置
	社会実験事業(第2弾)実施中

計画の進捗と推進について



その他

- ・団体(まちの拠点づくりコンソーシアム)の法人化と法人化に向けた人材育成への取組み
- ・事業実施主体の発掘と連携
- ・都市計画変更(市街化区域編入、用途地域変更)

(5) 整備イメージ

Bio の既存ストックを活用した社会実験でつくる「まちの拠点“新・道の駅”」のイメージ —今あるものを活かす知恵と工夫によって、人が集まり、加東市全体が元気になる拠点を官民協働により育てていく—



(出典:国道175・372号交差部周辺活性化基本計画P. 19)